

## 採点基準 英語

### 全体の基準

- \*原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみとする。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**。但し、文字の大小の誤り、句読点・コンマ・ピリオドに関する誤り、iやjのドットの欠如は、原則不問とする。

### 和訳問題（第1問・第2問）の基準

- \*以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1語につき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
<b>修飾語</b> （限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞）	-1	-1
<b>内容語</b> （名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞）	-1	-2
<b>機能語</b> （従属接続詞・前置詞）	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1語につき**マイナス3点**を原則とする。

### 英作文問題（第3問・第4問）の基準

- \*小問ごとに別記の基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、SOVの語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1語につき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表			
大問	配点合計	小問等	配点
1	50	(1)	10
		(2)	20
		(3)	20
2	50	(1)	3×4
		(2)	10
		(3)	18
		(4)	10
3	25	—	25
4	25	(1)	5
		(2)	6
		(3)	9
		(4)	5
大問計	150	小問計	150

第1問(1) 配点 10

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。⑥が不適切なものは、マイナス2点。  
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①鐘状ビーカー	2点	・「鐘状」=ベル状/ベルの形/(呼び)鈴型 ・「ビーカー」=壺/ポット/陶器/土器/(広口)杯
②青銅器時代に流行した	2点	・「青銅器時代」=(約)4500年前/ ・「流行」=はやり/広がる
③さまざまな集団に共有された	2点	・「さまざまな集団」=異なるグループ/多くの民族[人種] ・「共有」=分有/(分け)持つ/~の間に(広がる)/~のものである
④ビーカーの民	2点	・「ビーカー」=上記①参照/「その」但し①を指すことが明確なもの ・「民」=(作る/使う)民族/(文化を持つ)人々[民衆]/移民
⑤大陸を移動した	2点	・「大陸を移動した」=(ヨーロッパ)大陸を横断した/西欧(圏)内で移住した
⑥解答形式:文末との不整合	-2点	・日本語として不自然なものは-2

\* 各要素間の関係及び全体性:要素が揃っていても、余計な語句や接続語の不全により意味が異なる場合は、総点からマイナス5点。

第1問(2) 配点 20

部分①: this=individuals connected to Beaker pots seem to be a distinct, genetically related group that almost wholly replaced the island's earlier inhabitants  
 ビーカー壺と接点のある人々が、遺伝的に関係がある別個の集団で、ブリテン島の先住民とほぼ完全に入れ替わったということ

要素	配点	各要素の正解例
ビーカー壺と関係のある人々[ビーカーの民]が	2点	individuals=人々/民 connected to=~と関係のある/(ビーカー)の(民) Beaker=ビーカー(の)/*カタカナ表記ミスは不問 pots=壺/ポット/陶器/土器/(広口)杯
遺伝的に(相互に)関係がある	3点	seem to be=欠如/~だと思われる/~らしい[ような] distinct=欠如/(先住民とは)別個の/(全く)異なる/区別できる genetically=遺伝(学)的に/血縁的に related=(親戚)関係がある/ group=欠如/集団/種族

<p>ブリテン島の住民と入れ替わった</p>	<p>3点</p>	<p>almost=欠如／ほぼ／ほとんど          wholly=欠如／完全[全面的, 全体的]に／全く／全て／すっかり          replaced=入れ[置き]替わった／追い出した／滅ぼした          the island's=(グレート)ブリテン[ブリトン](島)の／イギリス[英国]の／*カタカナ表記ミスは不問          earlier=欠如／先／原／初期／早期          inhabitants=住民／居住者／人々</p>
<p>部分②: If true, ... suggests that Britain's Neolithic farmers (who left behind massive rock relics, including Stonehenge) were elbowed out by these invaders and also that the people who built Stonehenge probably didn't contribute any ancestry to later people, or if they did, it was very little.          仮にこれが本当だとすると, ...は, (ストーンヘンジを含む巨岩遺跡を残した)ブリテン島の新石器時代の農民たちが, この侵略者によって駆逐されただけでなく, ストーンヘンジを建造した人々は, おそらく, 後世の人々に祖先としての血筋をまったく残さなかったか, 仮にあったとしても, ごくわずかであったことを示唆する。</p>		
<p>要素</p>	<p>配点</p>	<p>各要素の正解例</p>
<p>If true ... suggests that Britain's Neolithic farmers (who left behind massive rock relics, including Stonehenge) were elbowed out by these invaders</p>	<p>6点</p>	<p>If=(仮に)～だとすると          true=本当／事実／真実          suggests=示唆する／示す          that=欠如／こと          Britain's=(グレート)ブリテン[ブリトン](島)の／イギリス[英国]の          Neolithic=新石器時代の          farmers=農民たち／農家          (who ...)=欠如／括弧の有無は不問          left behind=残した          massive=巨／大きな          rock=岩／石          relics=遺跡／史跡          including=を含む／のような          Stonehenge=ストーンヘンジ／*カタカナ表記ミスは不問          were elbowed out=駆逐された／追い出された／押し退けられた          by=によって          these=この／これらの          invaders=侵略者</p>
<p>and also that the people who built Stonehenge probably didn't contribute any ancestry to later people, or if they did, it was very little.</p>	<p>6点</p>	<p>and=欠如／そして／だが          also=また／～だけでなく          that=こと          people=人々／民族          who=欠如／          built=建造した          Stonehenge=ストーンヘンジ／*カタカナ表記ミスは不問          probably=おそらく／多分／ひょっとすると          didn't contribute any ancestry to=～に系譜[祖先としての血筋]をまったく残さなかった／～の祖先ではなかった          later=後世の／後の／続く[次]世代の／子孫(の)          or=か／または          if=(仮に)～としても</p>

	they=欠如／ did=あった／そうだった／(残)していた it=欠如／それ was=～であった very little=ごくわずか／とても少ない／ほとんど(全く)ない
--	---

第1問(3) 配点 20

部分①: the lead researcher states that as far as the archaeological record is concerned, there is no evidence supporting such a huge shift.  
 考古学的な記録に関する限り, こうした大規模な入れ替わりを裏付ける証拠はないと研究主任は述べ,

要素	配点	各要素の正解例
the lead researcher states that as far as the archaeological record is concerned, there is no evidence supporting such a huge shift,	7点	the=欠如／その lead=主任／リーダー／トップの／主要な／指導[主導]的な researcher=研究(者)／研究の states that=～と述べる[表明する]／～と記している as far as ...is concerned=～に関する限り the archaeological=考古学的な record=記録 there is no=～はない evidence=証拠 supporting=裏[根拠]付ける／支持[立証]する／支える such=こうした／そうした／そのような a huge=大規模な／大きな shift=(人種の)入れ替わり／交替／転換／変化

部分②: cautiously adding that the findings could have been adversely affected by the rise of fire burial in Bronze Age Britain because this custom might have eliminated bones from which crucial genetic information could have been extracted.  
 青銅器時代のブリテン島で生まれた火葬の風習によって決定的な遺伝情報が抽出されたかもしれない骨が取り除かれた疑いがあるために, この風習が今回の発見に悪影響を与えた可能性がある, 注意深く言葉を続けている。

要素	配点	各要素の正解例
cautiously adding that the findings could have been adversely affected by the rise of fire burial in Bronze Age Britain	7点	cautiously=注意[用心]深く／用心[警戒]して／慎重に adding that=～と(言葉を)続けている[付け足している, 加える] the findings=(今回の／この／その／当)発見(物)／ could have been=可能性がある／～したかもしれない adversely affected=悪影響を与えた by=～が／～によって the rise of=生まれた(こと)／～の発生／～の増加 fire burial=この風習[習慣／慣習]／火葬(の風習) in=～で Bronze Age=青銅器時代の Britain=(グレート)ブリテン[ブリトン](島)／イギリス[英国]／ <b>*カタカナ表記ミスは不問</b>

<p>because this custom might have eliminated bones from which crucial genetic information could have been extracted.</p>	<p>6 点</p>	<p>because=～ために[から／ので]／なぜなら～からである  this custom=この風習[習慣／慣習]／火葬(の風習)  might have=疑いがある／～したかもしれない  eliminated=(取り)除かれた／抹消した／なくしてしまった  bones=(人)骨  from which=欠如  crucial=決定的な／重要な／不可欠な  genetic=遺伝(子)  information=情報  could have been=～(した)かもしれない／～(した)可能性がある／～(した)であろう  extracted=抽出[採集]された／取れた／得られた</p>
--	------------	---

第 2 問(2) 配点 10		
<p>(a): The lengths that parents go to to maintain the myth of Santa are an indication of how surprisingly sceptical children are when it comes to imaginary worlds.  親たちがサンタの神話を維持しようとする苦労を見ると、想像的世界に関して言えば子どもは驚くほど疑り深いことが分かる。</p>		
要素	配点	各要素の正解例
<p>The lengths that parents go to to maintain the myth of Santa</p>	<p>6 点</p>	<p>The lengths that S go to to do=S が…する苦労(を見ると)／S が苦労して[わざわざ]…していること／S が…するためにどれほど苦労する[奔走する／骨を折る]か(は)／  parents=(両)親(たち)／父母(たち)  to do=「目的」の訳  maintain=維持する／守る／信じ続けさせる  the myth of=～の(神)話／  Santa=サンタ／サンタクロース／ *カタカナ表記ミスは不問</p>
<p>are an indication of how surprisingly sceptical children are</p>	<p>2 点</p>	<p>are an indication of=～ことが分かる／～ことを示して[示唆して]いる／～ということの表れ[印／指標]である  how=欠如／いかに[どれほど, なんと]～か／実に[とても]～こと  surprisingly=驚くほど／驚きべきことに  sceptical=疑り深い／懐疑的  children=子ども(たち)</p>
<p>when it comes to imaginary worlds.</p>	<p>2 点</p>	<p>when it comes to=～に関して(言えば)／(話が)～ということになると  imaginary=想像[空想／仮想的(の)]  worlds=世界</p>

## 第2問(3) 配点 20

### 【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。  
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①子どもは虚実を見分ける	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども」=児童／<b>欠如</b></li> <li>・「虚実」=非現実と現実／本物と偽物／嘘と真実</li> <li>・「見分ける」=判断する／基準がある／(架空の存在を)疑う</li> </ul>
②虚実の基準： 話す相手の信頼性	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す相手」=話す人／情報源になる人</li> <li>・「信頼性」=顔馴染み[親しい／身近な]／専門知識がある</li> </ul>
③虚実の基準： 物理的影響	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「物理的」=物的／現実的／<b>欠如</b> (④に同意語句がある時)</li> <li>・「影響」=効果／結果／作用</li> </ul>
④虚実の基準：物的証拠	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「物的」=物理的／物／(証拠)品／<b>欠如</b> (③に同意語句がある時)</li> <li>・「証拠」=根拠／証明</li> </ul>
⑤社会的演出	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会的」=社会の／社会による／公的</li> <li>・「演出」=裏付け／支持／承認／後押し／説得／誘導</li> </ul>

\* 各要素間の関係及び全体性:要素が揃っていても、余計な語句や接続語の不全により意味が異なる場合は、総点からマイナス10点。

## 第2問(4) 配点 10

(c): However, proponents point out that when children do work out that Santa is not real they tend to be delighted with their own cleverness rather than devastatingly disappointed.  
 しかし、支持者の指摘では、サンタが実在しないと実際に分かると、子どもはひどく落胆するよりむしろ自分自身の賢さに喜ぶ傾向があるという。

要素	配点	各要素の正解例
However, proponents point out that	2点	However=しかし proponents=(サンタ神話の)支持者／賛成[賛同]者／擁護者 point out that SV=指摘では SV/SV と指摘する
when children do work out that Santa is not real	2点	when=と／とき children= <b>欠如</b> ／子ども(たち) do=実際に／本当に work out that SV=SV と(ようやく)分かる[気づく]／発見する Santa=サンタ／サンタクロース／*カタカナ表記ミスは不問 is not real=実在しない／現実のもの[本当／本物]ではない
they tend to be delighted with their own cleverness rather than devastatingly disappointed.	6点	they=子ども(たち)／彼ら／ <b>欠如</b> (但し前で訳出がある場合) tend to=傾向がある／～しがちだ be delighted with=～に喜ぶ[嬉しくなる] their own=自分の／自身の cleverness=賢さ rather than=よりむしろ／のではなく／代わりに

		devastatingly=ひどく／とても／徹底的に／絶望的なほど disappointed=落胆[失望]する／落ち込む／がっかりする
--	--	--

**第3問 配点 25**

部分①: 子どもの喜ぶ顔が見たいばかりに、つい玩具を買い与えてしまう親をよく見かける  
As is usual with parents, they are tempted to buy toys for their children just to please them.  
Parents tend to buy toys for their children without thinking it over, only because they want to see the excitement in their eyes.

要素	配点	各要素の正解例
親をよく見かける	6 点	「よく見かける」=as is usual [often the case] with/(parents) tend [be apt/likely] to do/we often see (parents) (who) do(ing)/ 「親」=(the) parents/the [a] parent
つい玩具を買い与えてしまう		「つい～してしまう」=be tempted to do/do without thinking (it over) [with no hesitation, accidentally, unintentionally, despite oneself]/find oneself doing/can't help doing/ 「買い与える」=buy O (for their children)/buy their children O/ 「玩具」=toys/a toy
子どもの喜ぶ顔が見たいばかりに、		「～ばかりに」=just to do [so that S can do]/just [only] because SV/ 「～したい」=want to do/ 「Aの喜ぶ顔を見る」=see A's happy [delighted] faces /please [delight] A /see [make] A happy/ 「子ども」=one's children

部分②: が、実際には、おもちゃの数は少ない方が二つの点で子どもの発達にはよい。  
Actually, however, fewer toys are better for children to develop, from two viewpoints.  
In fact, however, playing with fewer toys will help children develop for two reasons.

要素	配点	各要素の正解例
が、実際には、おもちゃの数は少ない方が	4 点	「が」=but/however [nevertheless, nonetheless]/on the other hand 「実際には」=actually/in fact/the fact is that 「おもちゃの数は少ない方が」=(playing with [having]) fewer [less] toys/children (who play) with a smaller number of toys/
二つの点で子どもの発達にはよい。		「子ども」= children 「発達」=develop/develop better skills/development 「～にはよい」=be better for O to do/help O (to) do/do A good 「二つの点で」=from two viewpoints [points (of view)]/in two respects [ways]/for two reasons



部分③(下線部):「少ないおもちゃが子どもの発達によい」と思われる理由を2つ挙げる。  
 (例1)(1)そうすれば、子どもは1つ1つの玩具で遊べる時間が長くなる。その結果、1つのことに集中する能力が育つ。(2)また自分の玩具に愛着がわくので、それを大切に扱うようになる。  
 Now children can spend more time playing with each toy. As a result, they will develop the ability to focus on one thing. Since they get attached to their toys, they will also treat them with great care.  
 (例2)(1)1つの玩具でもっと長い時間遊ぶことは、物事が難しくてもやり続ける能力の向上を助ける。(2)その持続力が今度は問題を簡単にあきらめずに解決することに役立つだろう。  
 Playing with a single toy for a longer time will help improve the ability to continue doing something, even though it's difficult. Persistence will in turn help solve problems without giving up easily.  
 (例3)(1)1つの玩具に費やす時間や精神的エネルギーが多くなるから、数少ない玩具各々の遊び方に習熟し、(2)新しい遊び方を工夫するようになる。  
 Considering that children can now spend more time with one toy, they will probably be able to perfect the basic skills required to play with it. Once you achieve this level, you are ready to move on to the next level of creating new ways of playing games.

理由(1) 理由(2)	7点	以下に相当するものは理由一つにつき各-3 (a)単に「創造性[独自性, 自立心, 協調性]が発達する」など結論のみで理由が欠如しているもの。 (b)「玩具遊び以外の学習活動もできる」や「玩具を使わず戸外で遊ぶべきだ」のように玩具遊びを否定するなど、下線部に続く「数を減らして順繰りに遊ばせる」という玩具遊びを維持(つまり肯定)する解決法に繋がらないもの。 (c)常識的に「子どもの発達に悪い」と思われる理由。
----------------	----	---

部分④:だからと言って、今ある玩具の大半を捨てろという話ではなく、数を減らして順繰りに遊ばせれば円満に解決できる。  
 This doesn't mean that you should throw away most of your children's toys. You can solve the problem satisfactorily by reducing the number of toys they play with and then rotating them.  
 Not that you have to dispose of most of the toys your children have. You can solve the problem in a win-win fashion by putting away most of the toys so that your children can play with a small number in rotation.

要素	配点	各要素の正解例
だからと言って、今ある玩具の大半を捨てろという話ではなく、	8点	「だからと言って、～という話ではなく」=(of course) this [that, it] doesn't mean [isn't to say] that SV/(it's) not that SV/(just because of this) it doesn't follow that SV/I'm not saying [implying, suggesting] that SV /even so [that said], S not V 「～しろ」=(say) "Do" /you should [have to] do / 「捨てる」=throw away /get rid of /remove 「Aの大半を」=most [a/the majority] of+限定詞+A /almost all (the) A 「玩具」=your children's toys /the toys / 「今ある」=欠如(但し your children's など前に所有格がある場合) / (which) your children have /
数を減らして順繰りに遊ばせれば円満に解決できる。		「解決できる」=S can solve the [this] problem 「円満に」=satisfactorily /peacefully /elegantly /without (any) trouble 「数を減らす」=reduce [decrease] (the number of) (one's) toys (to a small number of them) /cut (down) the number of toys / 「遊ばせれば」=by letting [if S let] O play /so that S can play 「順繰りに」=rotate O /in (good) order /in [by] rotation /by turns /in turn(s) /rotationally /each toy for a particular period of time

#### 第4問 配点 25

##### 【基準・配点】

(1)5点／(2)6点／(3)9点／(4)5点

下記の5つの観点から採点する。

- ①語数：解答欄から想定される語数を下回る語数の解答には、各問満点を限度として減点する。
- ②文法性：文法・語法・スペルなどの誤り、および不自然な適用は各1点を基本として減点対象とする。(1箇所に複数の誤りがある場合は複数点減点することがある。)
- ③テーマ性：設問文のテーマ・会話の流れにそぐわないと判断される不自然な内容・文脈、説明不足等は、下記の要素を参考に各問満点を限度として減点する。

	配点	要素
(1)	4点	・原則 Take it easy という答えを誘導する疑問文で、「(同じ場面で)何というのか」を尋ねる内容であること
(2)	6点	・原則デビッドの前の発言の真意が正しく理解できているかをデビッドに確認する疑問文であること
(3)	9点	・原則 Gambatte の内容を補強・補足説明する内容であること
(4)	5点	・適切な指示語・代名詞を用い、前後、及び全体の流れに沿う内容であること